

## 1. はじめに

### 1.1. 策定の背景と目的

蟹江町（以下、本町）は愛知県西部に位置し、東に隣接する名古屋都心へ鉄道で約10分圏内の良好なアクセスにより、名古屋市のベッドタウンとして発展してきた。

今後、進展する少子・超高齢化社会への対応として、公共交通の充実や歩行者・自転車が安全で快適に利用できる道路空間の整備などによるまちづくりが必要である。

本町は、東西においてJR関西本線及び近鉄名古屋線の2本の鉄道路線により、南北においては町面積の約4分の1を占める6本の河川により市街地が分断されており、それらの地形的背景を踏まえ、町民が円滑に移動できる交通体系を検討する。

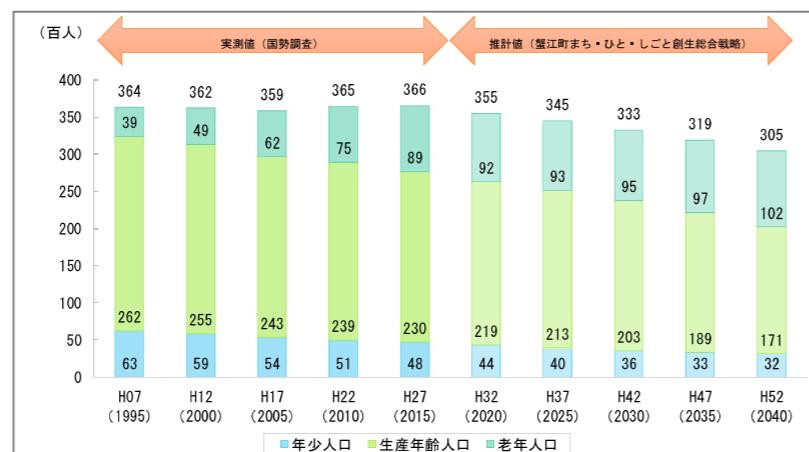


図 本町の人口の推移

資料：(実測値) 国勢調査  
(推計値) 蟹江町まち・ひと・しごと創生総合戦略

### 1.2. 総合交通戦略について

都市・地域総合交通戦略（以下、総合交通戦略）は、進展する少子・超高齢化社会への対応、交通渋滞の緩和、交通に起因する環境負荷の低減等のため、過度に自家用車利用に依存することなく、徒歩、自転車、公共交通等の各モードが連携し適切な役割分担のもと、望ましい都市・地域像の実現を図る観点から、地方公共団体を中心として、関係機関・団体等が相互に協力し、都市・地域が抱える多様な問題に対応すべく、交通事業とまちづくり事業が連携した総合的かつ戦略的な交通施策の推進を図るものであり、もって魅力と活力があふれる都市・地域の整備を行うことを目的とする。

資料：都市・地域総合交通戦略要綱より抜粋

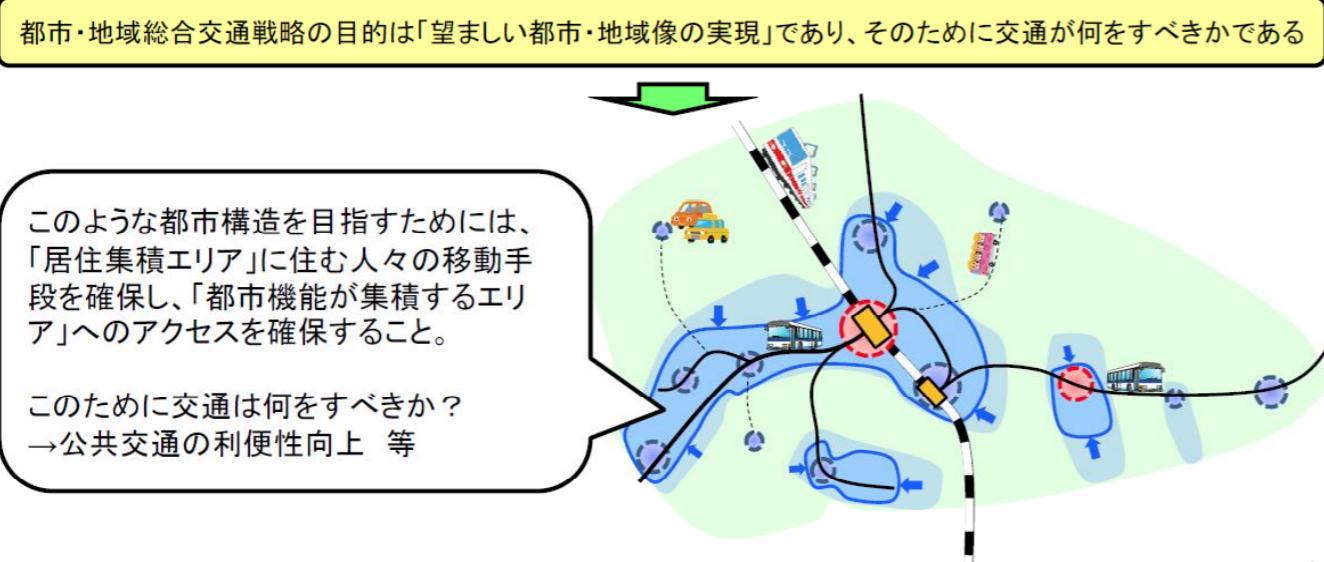


図 総合交通戦略について

資料：国土交通省 HP

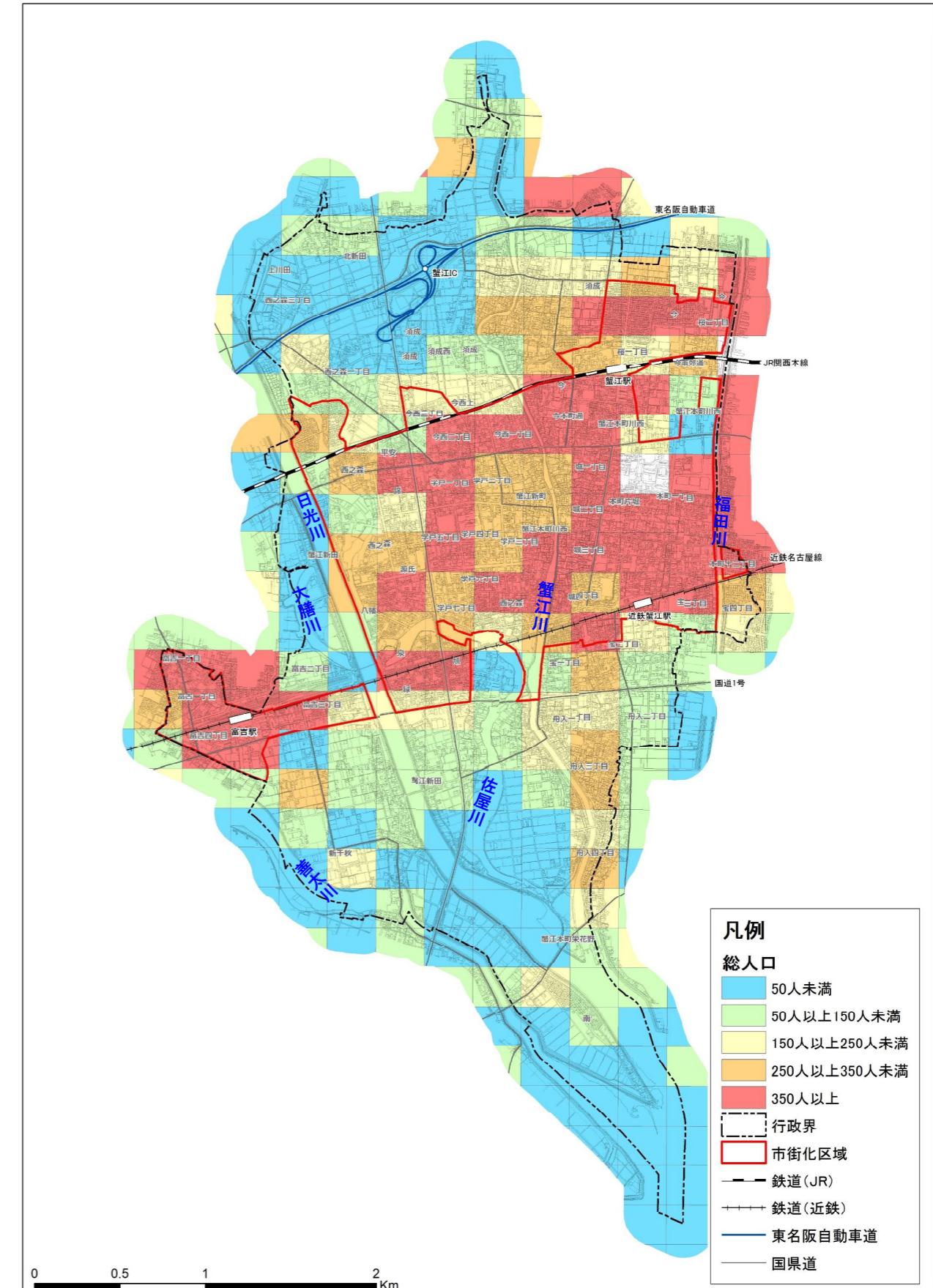


図 蟹江町の人口分布 (250mメッシュ)

資料：蟹江町、国勢調査